

特別編集
保存版
BOOK in BOOK

VSPA! マネー

「マネー 危機管理」 完全 マニュアル

10/15 2006

定価750円 臨時増刊
2006年10月15日発行通巻3023号
1952年2月23日第3種郵便物認可

'06秋

Part 1
橘玲責任編集
鉄壁の「マネーサバイバル術」を会得せよ!
Part 2
有事の「サバイバル投資術」
徹底指南

SPECIAL 企画

「金融ハイリスク 商品」必勝法

- ① モンゴル投資で「人生一発逆転」の現実度
- ② 新興国「ハイリターン投資」のすべて
- ③ 「変わり種ファンド」の儲け方

コミック2連発

「投資だめんず」のヒリヒリ人生
知らないと損する「借金術」虎の巻

「ハイリターン投資」
ガチンコ選手権

驚愕! 「悪徳投資顧問」
の手口を完全公開

インタビュー
高杉良
羽賀研二

連載

大川豊・前総裁のマネーコラム
「株つき美人」を探せ!
「情報起業でポロ儲け」できるかな

「お天気お姉さん」美女研究所

鼎談 須田慎一郎 × 有森隆 × 井上トシユキ

ゼニ系「裏ネタ」 の真相

表紙&インタビュー / しずちゃん(南海キャンディーズ)

総力特集 49 ページ!!

勝負やっぱ 株で

大研究

「乱高下相場でもしつかり儲けたい派から
バリュウー投資でのんびり殖やしたい派まで」

「mixi上場」
の今こそ

- ① 「乱高下相場なのに荒稼ぎ」の極意
- ② 「バリュウー投資」完全マスター
- ③ 禁断の「儲かるカラ売り」テクニク
- ④ 株式自動売買ソフト「活用ナビ」
- ⑤ 4億円三村式ネット株「利益確定のツボ」
- ⑥ 「売り時/買い時」トレンドモ法則を大検証
- ⑦ 「攫千金」未公開株「購入ガイド」
- ⑧ 対決「愛国株投資vs売国株投資」…ほか

300円から買える!
 配当10%以上も期待大!
 インドの次はこの国!



魅惑の [タイ株投資] に挑戦

ここ数年、BRICsブームで中国の個別株やインドファンドが注目を集めてきた。しかし、すでに過熱感が漂っているBRICsに今から投資をしてももう遅い! まだまだ注目度が低く、リスクも少なく、しかも少額から投資できる日本と近い微笑みの国・タイ王国こそが、ポストBRICsの最右翼だ!!

タイ王国ってどんな国?
 【面積】51万4000km² 【人口】6242万人
 【首都】バンコク 【人種】国民の85%がタイ族。ほかに華僑、マレー族、山岳少数民族など
 【言語】公用語はタイ語 【宗教】仏教95%、イスラム教4% 【主要産業】就業者の40%が農業だが、製造業はGDPの35%を占める 【通貨】バーツ (8月末時点で1バーツは3.11円)

安い! タイ株の最もわかりやすい魅力はこれに尽きる。
 「現在の平均PERが8倍台。日本の3分の1です。しかも大企業や優良企業でこの数字。要するに市場自体が成長過程で、全体的に割安なんです。日本でいえば80年代初頭の状況にある。にもかかわらず、今はさほど注目されていない。日本人って中国にしてもインドにしても市場がホットになっただけから入っていったじゃないですか。でもそれじゃあ儲けるのは難しい。その点タイはこれからの市場。今がチャンスなんです」
 強い口調でそう語るのはタイのユニテッド証券の此下竜矢社長。'80年代から現在にかけての日本の

メリット1 激安!

**激安で青田買いのできる
 タイ株投資の魅力とは?**

各国株式市場の規模比較

国名	上場企業数	時価総額	PER
タイ(SET)	468社	約16億円	9.4倍
日本(東証)	2351社	約540億円	33.9倍
香港(ハンセン)	934社	約120億円	15.1倍
インド(ムンバイ)	4763社	約65億円	18.0倍

市場規模は小さいがPERは他市場と比べると驚くほど低い。(05年末時点)

メリット2 高配当!

タイ株のもう一つの魅力が配当が驚くほど高いこと。左ページに高配当企業のベスト10を挙げたが1位の企業の配当利回りは20%超。ヘッジファンド並みの利回りだ。

タイ株のエライ人

「株価が割安だから高い配当利回りになるんです。株価が上がってしまえば同じ金額でも利回りは下がりますから。それとタイの企業は投資家に優しく、利益の50%くらいを配当に回すんですよ。日本だと20%程度でしょ。ですから全企業の平均でも4・3%くらいの利回りはある。またキャピタルゲインに対しても国内では無税です。タイは国も企業も株主を守り、その利益を追求するという基本姿勢があるんです」(此下氏)
 年間利回りが20%ってことは、株を買っても5年でモトがとれるということ。まさに今のタイ王国



此下竜矢氏
 ユナイテッド証券最前線責任者。大阪大学大学院日本史研究科卒。'97年から為末のアドバイザーとして知られるAPFに所属。買取に伴い、今年4月から現職。



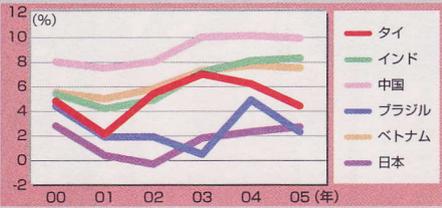
※本書に紹介されている証券会社の日本人向けサービスは、発売後に他社に移管されています



石田和靖氏
 財務コンサルティング、資産運用コンサルティング業務を行う(有)サ・スリービー代表。著書に「15万円から始める海外投資完全マニュアル」
<http://www.konishiinvestor.jp/>



各国のGDP成長率比較



'01年のタクシン政権発足以降、安定した経済成長を遂げている

タイのイメージといえば、農村をゾウが歩いて、人々はムエタイに熱狂……という感じだが、実際にはバンコクなどの大都市は日本と変わらないほど発展している。

メリット3 成長力!

は投資家天国なのだ。

タイの高配当企業ベスト10

銘柄名 (業種)	年間配当利回り	株価
RANCH (アグリビジネス)	20.29%	38バーツ
PPC (アグリビジネス)	16.67%	15バーツ
TTA (運輸・ロジスティクス)	15.91%	22バーツ
CVD (メディア・出版)	14.86%	14.8バーツ
FANCY (ホーム・オフィス)	14.45%	2.56バーツ
GL (金融・証券)	14.20%	8.45バーツ
RCL (運輸・ロジスティクス)	13.23%	18.9バーツ
PF (不動産開発)	12.68%	2.76バーツ
CSL (情報通信技術)	12.64%	3.56バーツ
TAF (アグリビジネス)	11.11%	90バーツ

ベスト10は軒並み配当利回り10%超! 2%程度の配当はタイの感覚だと無配と同じなのだとか。タイ株は持てれば儲かる!?

「若い女のコが携帯片手に街を歩いている。バンコクを訪ればタイの発展を肌で感じると思えますよ」
タイ株の魅力にとりつかれ、ガイド本まで出版した石田和靖さんはそう語る。GDPの成長率を見ても、中国やインドには及ばないものの、日本よりはるかに高い安定した成長率を誇っているのだ。「僕は長期スパンで投資を考えているのですが、そういう人間にとってタイ株はすごく適していると思います。現地でタイの人と接して感じたのは、タイ人の優しさや真面目さって、なんか日本と似てる



この立派なビルがタイ証券取引所 (SET)



フミホン現国王は国民の尊敬を集めている

「若い女のコが携帯片手に街を歩いている。バンコクを訪ればタイの発展を肌で感じると思えますよ」
タイ株の魅力にとりつかれ、ガイド本まで出版した石田和靖さんはそう語る。GDPの成長率を見ても、中国やインドには及ばないものの、日本よりはるかに高い安定した成長率を誇っているのだ。「僕は長期スパンで投資を考えているのですが、そういう人間にとってタイ株はすごく適していると思います。現地でタイの人と接して感じたのは、タイ人の優しさや真面目さって、なんか日本と似てる

メリット4 安定性!

プームの中国や最近注目を集めているベトナムは共産主義国。成長率が高くて投資先としてはリスクも高い。それに対して、タイは政治が安定している強みもある。「今回のタクシン首相解任騒動で政治的に揺らいでいると思われていますが、同時期にフィリピンやインドネシアでも似たようなことが起こりました。フィリピンとインドネシアは軍が介入して黙らせましたが、タイは選挙をした。つまり先進国と同じ政治システムがあるんですよ」(石田氏)

メリット5 親日的!

同じ立憲君主制で、日本の皇室とタイの王室が仲がいいということもあり、タイは非常に親日的だ。「中国が反目的な国だということは世界中で日本人だけが負うリスク。逆にタイには日本企業も数多く進出して、日本人に親しみを持っていて、これは個人投資家にとってもプラスです」(此下氏)

メリット6 日本語で投資可能

タイ株がこんなにも素晴らしいのなら、ぜひ自分も投資してみたいと考える人は多いはず。しかし、海外の個別株を買うとなるとネットになるのが情報の少なさ。特に

あるんですよ。法律制度やインフラも非常に整っている。日本と同じ感覚で投資ができるというのは大きいと思いますよ」(此下氏)
かつてはクーデターも多かったが、現在は資本家中心の社会に発展しており、さらに王様が国の中心にいるため、クーデターでシステムが根本から変わるようなリスクはまずないと言えるのだ。

71年創業の老舗証券会社をAOFが買収。日本からのタイ株投資を積極的に進める。
<http://www.unitedsec.com/jp/>

日本語の情報となると、これまでは皆無といっていたような状況だった。ところが、今年1月、アジア・パートナーシップ・ファンドがタイの上場証券会社「ユナイテッド証券」を買収。7月から日本語のホームページも開設し、日本人がネットを利用して手軽にタイの個別株を売買できる環境が整った。「英語の情報はあふれるほどありますけど、やはり日本人は日本語の情報がないと個別株の取引は難しい。我々のHPではチャートも企業情報も日本語で情報提供していますから、タイ株への敷居がぐんと低くなったと思います。どんどん利用してください」(此下氏)
まさに今がタイ株投資のチャンス! 本当にタイは宝の山なのか、挑戦してみる価値はありそうだ。